

## 「自尊と敬虔」と校門での立ち止まっての一礼

校長 亀谷 秀雄

5月に入り、昼間の気温も20℃をこえる暖かい日が続くようになりました。学校周辺の木々の緑も一層深みを増してきました。新学期が始まって1カ月が過ぎました。子どもたちは新しい学級にも慣れ、登校後の朝読書で落ち着いた雰囲気の中で学校生活が始まり、学習に部活動に頑張っています。

また、4月19日（月）から22日（木）の4日間の家庭訪問では、ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。今後も、子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭、地域との連携を大切にしていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、「自尊と敬虔」の学校だよりも2500号となりました。毎月の発行を考えると、長い歴史を感じています。「自尊と敬虔」の由来についての詳しい内容はホームページに記載していますのでご参照ください。毎朝、子どもたちは、登校したときに校門で立ち止まって一礼をして学校に入っています。47年間続いている伝統です。昭和43年に明治100年を記念して、旧校舎の門を改築することとなりました。その時、ブロック造りの案も出されたのですが、自然石の方が、趣があるということになりました。当時の佐古校長先生と教諭3名とで自然石を錦川で探し歩いたのですが、なかなかよい石が見つからず、133kmを探し歩き、ついに小瀬川の弥栄峡の下手で二つの自然石を見つけたそうです。その石に「自尊」と「敬虔」、「和木中学校」が刻まれました。「自尊」と「敬虔」の間場所は、生徒が両親の幸せを祈り、恩師を思い、教師は生徒の安全と向上を祈る場所であるとされています。この校門で立ち止まっての一礼の伝統をこれからも大切にしていってほしいと思います。



## 岩国市地区春季中学校体育大会が行われました

4月17日（土）と18日（日）の2日間にかけて岩国地区春季体育大会が行われました。各部とも県大会の出場権を獲得するために、全力でプレーしました。各部の活躍の様子を玄関に掲載していますので、ご来校の際にご覧ください。県大会の出場権を得られた部は、バレーボール部とソフトテニス部（団体、個人）です。これから県大会に向けて、さらに練習を積み重ねてほしいともいます。残念ながら、出場権の得られなかった部は、次の選手権の出場権の獲得に向けて、さらに努力を積み重ねてほしいと思います。今回の大会を終えての思いを各部の主将に聞いてみました。

### ○ 女子バスケットボール部 キャプテン

今回の試合で、今の自分たちに必要な課題を見つけることができました。それはディフェンスを強化することです。よかったところは、チームのみんなが声をかけ合っていたところです。次は選手権出場を目標に、緊張感をもって練習に取り組んでいきます。



### ○ 男子バスケットボール部 キャプテン

今回の大会では、ディフェンスで相手に抜かれてしまいシュートを決められたり、相手のマークを外しすぎてシュートを打たれたりしました。1年生も入部したので、日々の練習でしっかりと声を出し、次の試合では練習の成果を発揮していきたいと思っています。



○ **卓球部** **キャプテン**

今回の目標「団体戦県体出場」が叶いませんでした。昨年の秋に行われた新人戦では初戦は突破できたもののベスト8という結果で、今回も同じになったので悔しかったです。次の選手権予選に向けて、悔いが残らないように気合を入れて日々努力していきます。



○ **ソフトテニス部** **キャプテン**

今回の大会でよかったところは、団体戦で点が取れた時に、みんなで喜んだり、プレーしている選手を励ます声かけをしたりして、チーム一丸となれたことです。惜しくも岩国中学校に負けてしまったので、県体に向けて、さらに練習を積み重ねていきます。



○ **野球部** **キャプテン**

初戦で負けてしまったけれど、今までの中で、一番よい試合をすることができました。しかし、塁に出てもヒットが続かず1点も取れなかったので、点を取るためのバッティングを意識して練習に取り組んでいきます。次の試合では勝てるように頑張ります。



○ **バレーボール部** **キャプテン**

今回の大会で県大会出場を決めることができました。私たちが目標としていた県大会出場を成し遂げることができたのは、多くの方の応援のおかげです。とても感謝しています。県大会では、一つでも多く勝てるように、さらに練習を頑張ります。



**山口県中学校春季体育大会** **会場**

バレーボール 5月15日(土)

周南市麒麟ビバレッジ体育館

ソフトテニス 5月15日(土)・16日(日)

周南市麒麟ビバレッジテニスコート

## 労作活動と心磨き清掃

本校では、7:30から7:50の20分間、各部活動で1週間ごとに交代で労作活動として清掃活動を行っています。この労作活動始が間続いている活動で、生徒は、朝早くから国旗等の掲揚や生徒玄関の掃き掃除、グラウンド周辺の草取り等を行ってくれています。他の生徒は爽やかな朝を迎えられています。

また、終学活前に心磨き清掃を行っています。心磨き清掃の目的は、無言で清掃を行うことで、他の人に迷惑をかけることのない「我慢する心(強い意志力)」を、友だちの気持ちを考え、協力して行動できる「人の気持ちを考える心(情操力)」を、汚れたところを見つけ、自ら気づいて行動できる「気づきの心(創造力)」を育て、人間性を高めていくことです。そして、校舎や周りの人への感謝の心を持ち、他の人に左右されず自分の意志(正直な心)で清掃できるようになってほしいと考えています。生徒は、日々、無言で周りの人のことを考え協力しながら心磨き清掃を行っています。

